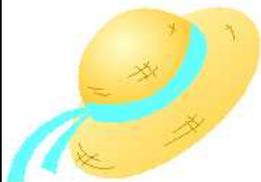




# 城南中だより

舞鶴市立城南中学校  
令和6年7月19日発行  
第5号 通算680号

<http://jonan-maizuru.edumap.jp/> Tel 75-0137



## より良く生きる

猛暑の候 保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本日の終業式をもちまして、第1学期の教育課程を終えました。終業式では1学期を振り返って生徒たちの労を互いにねぎらうとともに2学期以降の理想的な姿を展望し、40日間の夏季休業を有意義かつ健全に制することが次のステップへの着実な足がかりとなることや、そのことは全ての生徒が澁刺と8月29日の始業式を迎えることにつながっていると話しました。

7月は、およそ20日間の短期間に鴨田市長の講話や、様々な夏季大会等に向けた部活動強化週間、市内実力テスト、舞鶴支援学校との共同授業、2年生総合的な学習の時間、学識経験者や地域住民・同窓生代表からなる学校運営協議会などに取り組みました。

### ～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな?～

検索

上記は文科省の児童生徒向け啓発HPです。数年前に、とある県議会で「子どものゲーム使用は1日60分まで」「中学3年までは、スマホ使用は夜9時まで」というルールを家庭で守るよう保護者に求める条令素案をまとめている、という記事が話題になりました。同じ記事を見て「えーっ!?!」となった生徒がいたかもしれません。

その前年にWHOがゲーム障害を「依存症」として位置付けたこととも無関係ではなかったでしょう。以下の4つの項目が続く差し迫った状況は、依存症が疑われるとされています。

- ◆ゲームの使用を制御できない。
  - ◆ゲームを最優先する。
  - ◆問題が起きてもゲームを続ける。
  - ◆ゲームにより個人や家庭、学習や仕事などに問題が生じている。
- これらの文章の「ゲーム」の部分のを他の特定の物質や限られた行動等に置き換えた状況も同様に依存症だと考えられます。

保健教育にかかわる講座で次のような例が示されました。毎日平均2時間20分スマホを触ると仮定すると年間で**851.6時間**になります。これは、文部科学省が定める中学校における1年間の標準授業時間数**845.8時間**を上回ります。日々の積み重ねは恐るべし、侮れません。

**スマホ使用 (140分×365日=51,100分) > 全授業 (50分×1,015校時=50,750分)**

「平均2時間以内の使用なら超えないよ」という話題ではありません。講座では、長く小児科医療に携わる専門医の立場から、次のように述べられました。

～ 長時間の使用による目や脳などへの影響や依存症も然り、スマホ等のメディアに長時間接する子どもの年齢が低ければ低いほど、発達の機会を阻害する様々な危険性が一層高まります。したがってメディア機器に割く時間を、できる限り実体験を伴う多様な経験や人と人とのかわり、良質な睡眠、何より家族とのあたたかなふれあいに重きを置くべきです。スマホ等をはじめとする子どもの課題は、大人の課題なのです。～

効果的な ICT 活用を推進する今日だからこそ、本校でも健全な情報リテラシー・メディアリテラシーの育成を含めて、あらゆる学習活動をバランスよく配置し、生徒がお互いに信頼関係を高める互恵的で協同的な学びの充実に一層励んでいます。また、「インクルーシブな学校運営事業」では、生徒を深く理解して寄り添った指導ができるよう教職員が小さな変化にも気付くことができる力を備え、豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力により全ての生徒が未来を切り拓いていけるよう、一人一人の個性や能力を最大限に伸ばす教育に努めています。

保護者・地域の皆様方のかかわらぬご理解とご支援を、よろしくお願ひ申し上げます。

校長 福本 浩介 教職員一同



より良い学校教育で、より良い社会をつくる